

令和6年12月18日

## 徳島県の小学校教師を養成する「地域教員希望枠」を導入

- 鳴門教育大学と徳島県教育委員会が連携し、地域の教育課題に対応できる小学校教師を計画的・継続的に養成する取組を開始します。
- まず、鳴門教育大学では、令和9年度入学者選抜（令和8年度実施）から、「地域教員希望枠」として、徳島県の小学校教師を目指す強い意欲を持った学生を募集します。
- 学部から教職大学院までの7年一貫型で養成する、全国で例のない先駆的な取組です。詳細は合同記者会見で公表しますので御参加ください。

### 1. 合同記者会見の開催について

日 時：令和6年12月23日（月）14：00～15：00

場 所：徳島県庁9階 教育委員室

説明者：鳴門教育大学 学長 佐古 秀一

徳島県教育委員会 教育長 中川 斉史

### 2. 地域教員希望枠について

全国的な教師不足を背景に、他県でも「地域教員希望枠」の導入が進んでいます。

他方、鳴門教育大学と徳島県教育委員会が連携して実施する「徳島版：地域教員希望枠」は、県内の様々な課題への対応力を持ちつつ、学校間連携等を推進できる若手リーダー教師を教職大学院までの7年間で計画的に養成する点に大きな特色があります。

※ 本取組は、令和6年度 文部科学省「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に選定されています。

#### （今後の予定）

徳島県の小学校教師を目指す強い意欲を持った学生を、令和9年度入学者選抜（令和8年度実施）から募集します。出願は県内の高校生に限らず、県外からも可能とします。

「地域教員希望枠」で入学した学生は、鳴門教育大学と徳島県教育委員会が連携開設する「徳島スーパールーキー教員養成プログラム」により、即戦力となる知見・力量を獲得していきます。

#### <主な養成の過程>

- ▶ 入学前：高校段階から、徳島県での小学校教師への理解・志向を深めるセミナーを受講。
- ▶ 大学学部：地域教員希望枠入試を受験。入学定員5名。  
（4年間）入学後は学修集団（コホート）を形成し、徳島県中核教員養成科目群など特色あるカリキュラムを受講。
- ▶ 教職大学院：1年目に徳島県教員採用試験を受審※。2年目は小学校教師として学校現場で勤務、  
（3年間）3年目に勤務しながら教職大学院を修了。  
なお、修了後も直面した課題解決に対応するため、大学が適時にバックアップ。

※「地域教員希望枠」の学生については、徳島県公立学校教員選考審査において特別選考等を行うことも検討。

#### ◇発信元・問合せ先◇

（事業全般に関すること）

国立大学法人鳴門教育大学

企画調整役 牧野 浩司

TEL：088-687-6030

MAIL：kikaku@naruto-u.ac.jp

（教育事情等に関すること）

徳島県教育委員会

教職員課長 西浦 利幸

TEL：088-621-3125

MAIL：kyousyokuinka@pref.tokushima.lg.jp

# 地域教員希望枠「徳島スーパールーキー(次世代徳島リーダー教員)養成プログラム」の概要

## 背景

- 徳島県の小学校では単学級校が増加。さらに単学級を下回る過小規模校も増加傾向。
- これに対応するため、県教委では、他校種や他機関と連携しながら小規模校の教育活性化を図る「チェンスクール」「パッケージスクール」の取組を推進。
- 今後、一層の拡大が見込まれるこれらの学校で、中心となって活躍できる資質を備えた教師を確保していくことが必要不可欠。

## 対応



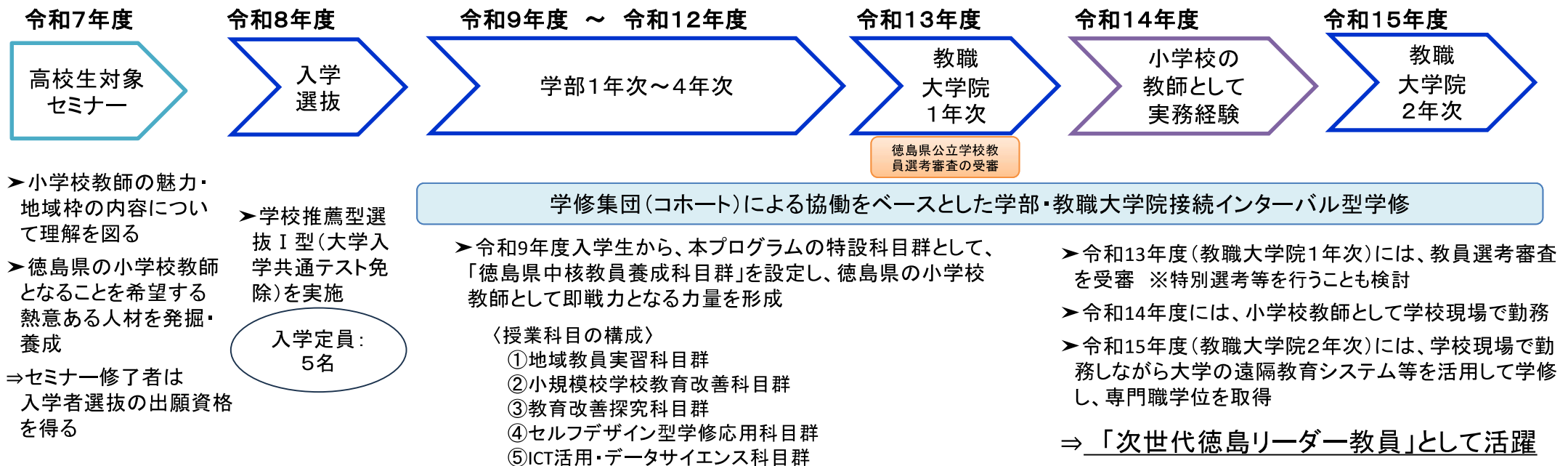
国立大学法人

鳴門教育大学 × 徳島県教育委員会

- 鳴門教育大学で養成する教師像を「徳島県が抱える小規模校化の中でも学校間連携を推進し学校力を強化するとともに、必要な知識・スキルを学び高め続けていく『次世代地域リーダー教員』」と捉え、徳島県教育委員会と連携・協働して、安定的・継続的に教育現場へ人材を輩出していくことで合意。

## プログラムの流れ

※令和9年度入学生の場合



## 主な特色

- 「学部から教職大学院までの7年一貫型養成」は、全国でも例のない先駆的な取組
- 学修集団(コホート)による協働をベースに、学部・教職大学院接続インターバル型学修を展開
- 徳島県教育委員会と鳴門教育大学が密接に連携し、高校生対象セミナーから学生の養成、修了後のフォローまで実施

地域教員希望枠入試について

【地域教員希望枠入試の新設】

本学は、学部・教職大学院の正規の教育課程の中に、特に小学校教員養成に特化した「徳島スーパーリーダー教員（次世代徳島リーダー教員）養成プログラム」を設定し、学部・教職大学院接続インターバル型履修（学部4年＋教職大学院1年⇒採用審査を経て学校で実務経験1年⇒実務経験2年目に教職大学院継続履修・修了の教育体制）を新たに構築します。

本プログラムを履修する学生を募集するため、令和9年度入学者選抜試験（令和8年度実施）から、学部の学校推薦型選抜Ⅰ型に「地域教員希望枠」を新設します。

「地域教員希望枠」には、次世代徳島リーダー教員を養成するため、募集人員5人を設定し、全国から募集します。学生は小学校教員養成を目的とする学部の「小学校教育専修学校教育実践コース」に所属し、卒業後は教職大学院の「教員養成特別コース」に進学します。

1 募集人員【学校推薦型選抜Ⅰ型】

| 学 部    | 課 程        | 専修・コース               | 区 分     | 募集人員 |
|--------|------------|----------------------|---------|------|
| 学校教育学部 | 学校教育教員養成課程 | 小学校教育専修<br>学校教育実践コース | 地域教員希望枠 | 5人   |

2 出願要件

高等学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者で、次の各号にすべて該当する者としします。

- ① 出身高等学校長が、教員になるためにふさわしい意欲・資質・能力・適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 全体の学習成績の状況が3.8以上の者
- ③ 本学が主催する「徳島で輝く先生になる！鳴教プロジェクト」（仮称）を修了した者
- ④ 徳島県が直面する課題に高い関心を持ち、徳島県の小学校教員として、諸課題に積極的・主体的に取り組もうとする熱意ある者
- ⑤ 学部卒業後は本学教職大学院に進学することを志望する者

3 推薦人員

出身学校長が推薦できる人員は、2人以内とします。  
ただし、分校は本校とは別に1校として取り扱います。

4 選抜方法

出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを免除し、推薦書、自己推薦書、自分をアピールできる客観的資料（該当するものがある場合）、調査書及び徳島県教員志望理由書（以下「推薦書等」という。）の内容、小論文、面接の成績等を総合して入学者を選抜します。

① 配点

| 小論文 | 面 接 | 合 計  |
|-----|-----|------|
| 200 | 800 | 1000 |

② 小論文

徳島県の小学校教員になるためにふさわしい資質と能力としての論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

③ 面接

志望動機、勉学意欲、コミュニケーション能力及び本学教職大学院進学の志望動機をみることにより、徳島県の小学校教員としてふさわしい資質と能力を総合的に評価します。

④ 徳島県教員志望理由書

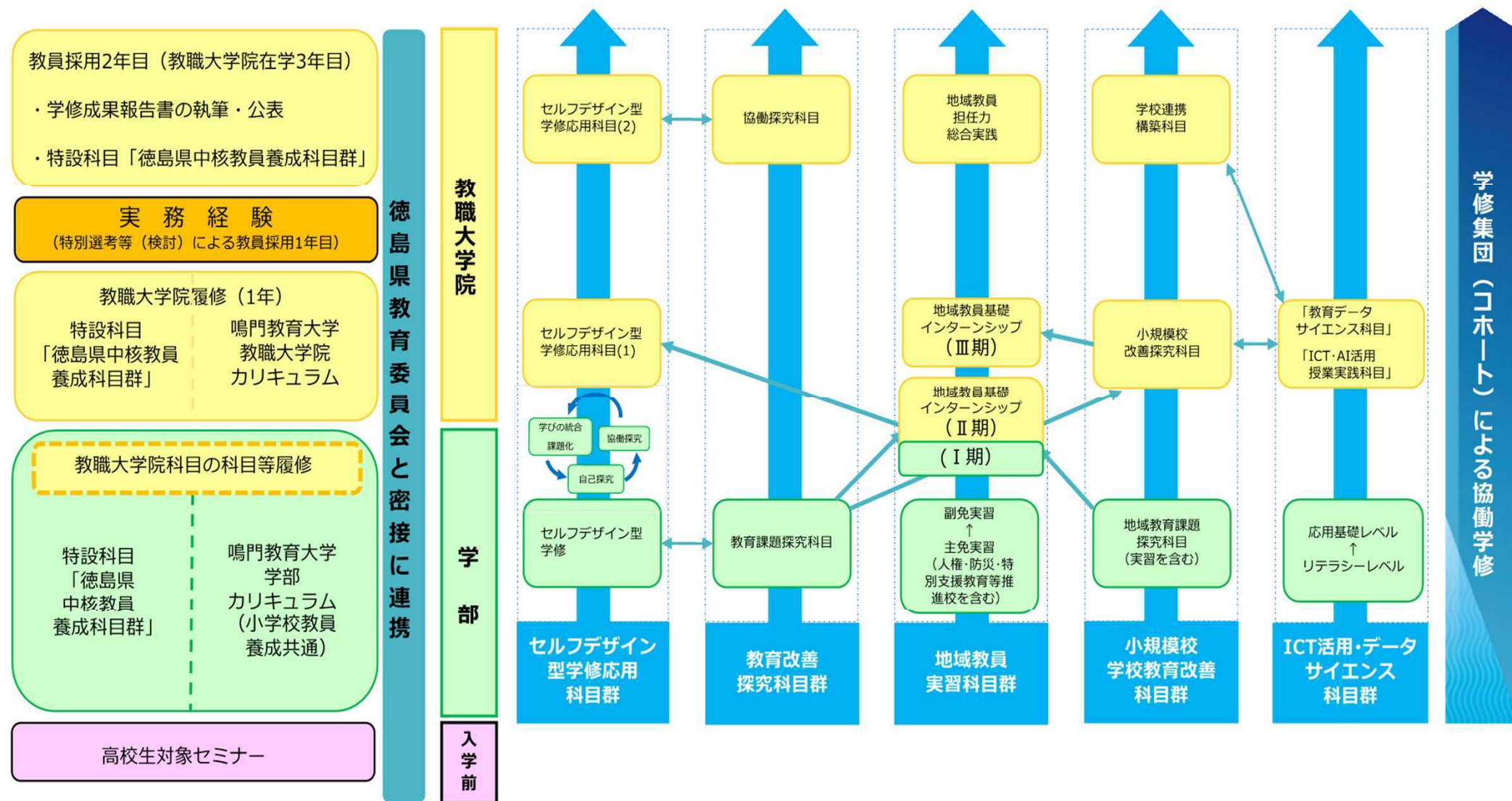
徳島県の小学校教員を志望する理由を評価し、選抜者の判定に利用します。  
・徳島県の小学校教員を志望する理由は、志望理由を具体的に記入するとともに、どのような教員になりたいか、自分の理想とする徳島県の小学校教員像を具体的に記入することとします。

5 判定基準

選抜者の判定は、小論文、面接の成績の合計点の高得点者から行うことを原則とします。また、推薦書等の内容は、総合してA、Bの2段階で評価し、判定に利用します。  
なお、推薦書等は、面接の参考資料とする場合があります。

(参考)

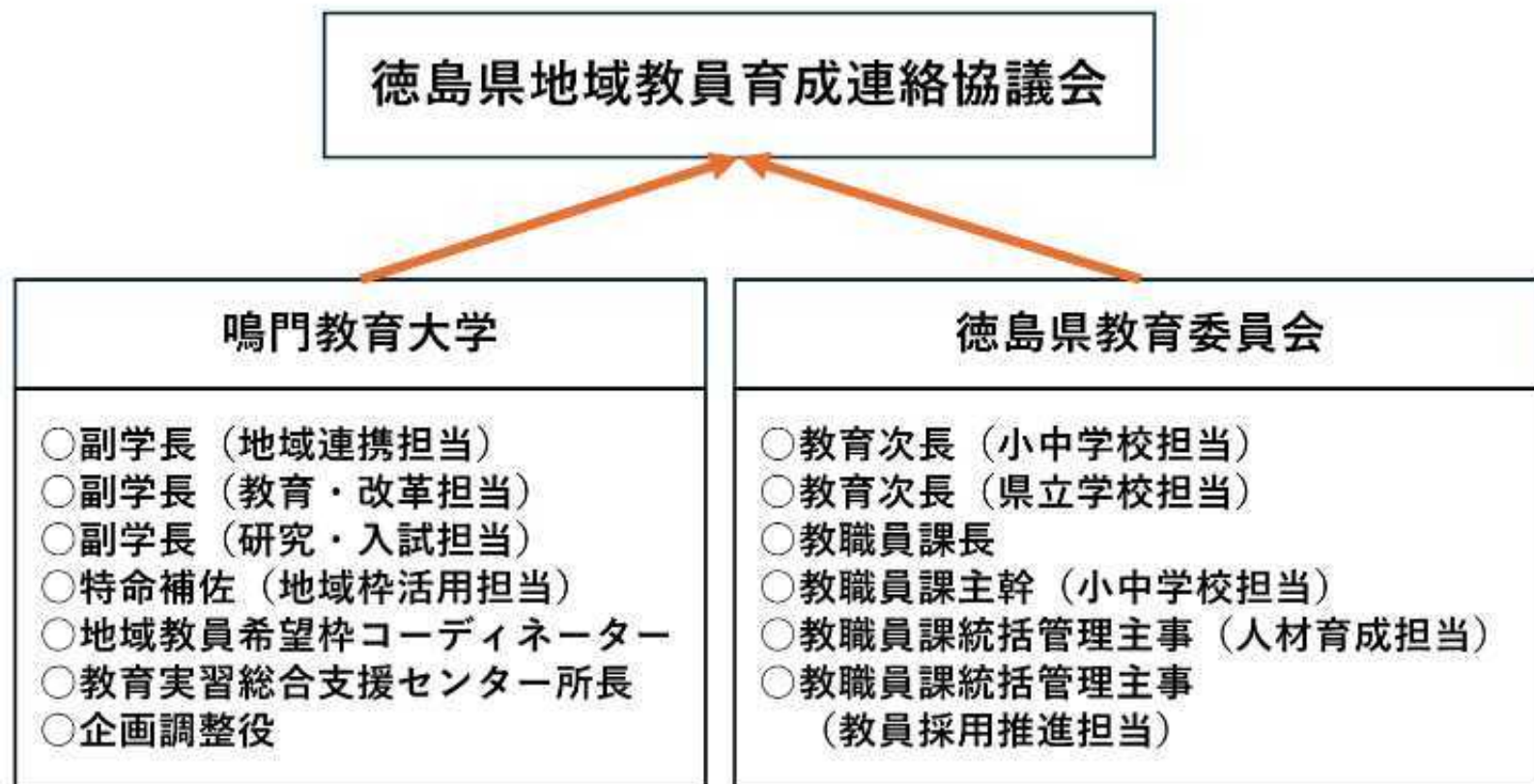
# 「徳島県中核教員養成科目群」カリキュラムマップ





(参考)

## 「徳島県地域教員育成連絡協議会」運用体制図



### 徳島県地域教員育成連絡協議会設置要項（抜粋）

第5条 協議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 学部及び大学院が養成する人材像に関する事項
- (2) 地域課題に対応した授業科目の開発及び教育課程の編成等に係る基本的な事項
- (3) 教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項
- (4) その他教育の質の向上及び学生支援に関する事項